

来場者から寄せられた意見・質問の要旨

【アンケートからのご意見（抜粋）】

- 新しい本庁舎はこれからの仙台をつくる場所である、という馬場氏のレクチャーにはとても共感した。
- 事例紹介で取り上げられた、南池袋公園のような取組は興味深いが、どちらかというと錦町公園や西公園のような周辺の公園の将来像として参考になる。
本庁舎の広場と市民広場は、イベントの収容拠点としての活用を促進するような方向で、一体的活用を行うことは望ましい。
- 馬場氏の「勝手に提案」というのはかなり面白かった。定禅寺からの緑のループは、実現したら仙台市の都市力向上は間違いなしだと思う。仙台駅前に集中した人口を分散できるいいアイデアだと思う。
- まちの課題、仙台商しさを、市民・企業とのコラボ、市民広場で行われていることが政策につながる（その逆も）、民間との運営、とても大事な視点がたくさんあった。
- 仙台商しさについて、他所からの見え方が興味深かった。
- 都市計画的な、マクロ的な意味論のアプローチが多い。それはそれで必要な議論なのだが、それを建築的にどう回収していくのか、そのサジェスチョンが得られなかったのは残念。唯一馬場氏が現実的にどうしたらよいかを示しながら話していたような気がする。おそらくフューチャーセンター的なものが今後の市役所的なものの核になるのだと思う。
- NPOの方々、あるいは学識経験者の方々と一般市民の間での認識の間にまだまだギャップがあると感じた。現在の市役所への来訪者の数、市民の部屋の活用状況が一般市民の市庁舎を利用する認識レベルであり、市民の認識をどう変え、イメージさせていけるかが課題だと思う。シンポジウムに参加していない方々への情報発信強化も必要ではないか。
- 計画はグランドレベルでのディスカッションが重視され過ぎているように感じる。市役所の基本である市役所職員の人たちが充実した仕事ができるように事務空間の質を上げることが忘れないでほしい。
- 新庁舎ユーザーになる若い世代の意見を聞きたい。仙台はどうなっていきたいのか長期的視点で建ててほしい。都市経営という視点は大事だと思う。

【会場からの質問（抜粋）】

- 本庁舎の一部として広場があるというより市民広場という大きな空間に本庁舎の機能があるというような解釈もアリだと思う。
- 昔と違って役所に行く用事・目的が減ったのではないか。「単なる職員のオフィス」となるのは避けてほしい。
- 市民広場の下にある地下駐車場も含めての一体利用なのか。また、市民広場自体の整備も庁舎のオープンと合わせて行うのか。市民広場の整備スケジュールを教えてほしい。
- 庁舎や市民広場を含めて全体を民間に管理運営してもらうとなると、体力のある大企業しか参入できなくなることが想定される。
- 勾当台エリアまちづくり事業本部（市長直轄）で、本庁舎、市民広場、定禅寺通まちづくりを総合的に進めてはどうか。
- 市役所と市民広場はなぜ一体で計画しないのか。本日の発表も別、担当課も別。一体の利用はどれも必要だとわかっていて別々に計画することはないのでは。